

結の技市2010～蔵の中で手仕事体験～

企画書

平成22年8月12日

結の技市(ゆいのわざいち)とは

福祉ショップ用に隣接する「結の蔵」の前で、障害を持つ人たちの手作り仕事の実演と製品の販売を行う。2007年より年1回、鎌倉の観光シーズンにあわせ10、11月の毎週土日祭日に開催。

※「結の蔵」・・・2005年に秋田県から移築した酒蔵で日本の伝統が随所にみられる建築物。日本民家再生協会のご厚意により、蔵の前の広場をお借りしている

開催の目的

- ・広く市民に、障がいをもつひとの仕事について、理解を深めてもらう機会とする
- ・障がいをもつ人たちに、日ごろの作業を披露することで、仕事への自信につなげてもらう

2010年は・・・～蔵の中で手仕事体験～

好評だったワークショップを蔵の中で開催します

- ・市民に多くの参加の場を提供できるよう、単発だったワークショップを日程化し、事前に募集をする
- ・ワークショップの講師には障がいをもつひとを招き、謝礼、交通費などを用意し、ボランティアによるサポートを強化する

昨年までの様子

例年、障害者福祉施設や地域作業所から出展を募り、蔵の前のテントで実演販売やワークショップを開催、10～15団体の申込みがある

昨年は10ヶ所の福祉施設の申込みがあり(毎年連続が5、初参加も2)、テント下で行った実演やワークショップでも、施設側、実演する当事者も慣れてきた様子で開催。実演を見て製品が売れたり、ビーズワークショップに親子連れが参加したりとにぎわった。地域の市民も立寄ることが増え、定着してきていることを実感した



結の技市2010～蔵の中で手仕事体験～

実施内容

日程 2010年 10月～11月の毎週土、日、祭日（全21日） 11時～4時

蔵の中でのワークショップ（全10回） 2時～4時

場所 「結の蔵」前広場（鎌倉市扇ガ谷1-10-6） テント下にて

蔵の中でのワークショップ 「結の蔵」内

内容

1日1団体の障害者福祉施設、作業所等から出展を募り、
蔵の前のテントで一日実演販売を行う
蔵の中でのワークショップ・・・出展販売と平行して市民向けに開催
障がい当事者が講師となり、指導する
ビーズでのストラップ作り、織物、フェルトワークショップなど

対象 一般市民、観光客、福祉施設利用者（高齢、障害）など

出展団体募集 県内外の障害者福祉施設、地域作業所によびかけ
※社会福祉協議会、県障作連、セルフ協、各福祉ショップに協力を依頼

ワークショップ参加者募集 対象者に向け、ワークショップ日程表をメディアなどで広報

運営スタッフ 結の技市実行委員とボランティア 述べ20～30名
※ボランティアセンター、市民活動支援センター等に呼びかけを依頼

実施費用

福祉ショップ朋より支援金、出展団体からの参加金、ワークショップ参加費
※ワークショップ費用・・・神奈川県ともしび助成金申請中

実行事務局

結の技市実行委員会 朋ボランティアグループ
鎌倉市扇ガ谷1-7-7 TEL/FAX 0467-22-0802